

岡垣の教育 海老津小学校⑧

～開校から10周年のころまで～

岡垣歴史文化研究会 入江 東樹

昭和61(1986)年11月、創立10周年記念式典が行われた。

式典で、和田勝男校長は「昭和52年4月、海老津の丘に開校した当時は児童数531人、15学級だった。山の中に校舎だけが、ぼつんと建っていた。その後、諸施設が整えられ、児童数836人、23学級となった。教育環境の充実とともに、『楽しい学校づくり』を目指し、基礎学力の充実と心豊かな児童の育成に、実績を積み上げてきた。その努力が実り、県教育委員会から、学校表彰を受けた。県学校保健教育会からも、学校給食優良校として表彰された。今後とも、本校に学ぶ子どもたちが心身ともに健やかに育ち、今回建立された記念碑『翔け、海老津の子』のように、翔いていけるよう、努力していく決意です」とあいさつした。

児童代表の松崎仁君は「記念碑」に刻まれた「翔け、海老津の子」の願いのように、大空に向かって、力一杯はばきたい。20年後に開かれる予定のタイムカプセルは楽しみです」とあいさつした。

※二人のあいさつは要約したものです

この式典まで、創立10周年記念事業が行われた。

①交通公園の設置。舗装や交通指導用のラインの標示、国鉄で使用していた貨車や信号機の設置、消防自動車の展示など。貨車は国鉄で売り出しになっていたものだという。苅田(行橋市)から運ぶのが大変で、町内の運輸会社に依頼して、深夜に運んだという。信号機は、旧香月駅に残っていたもので、学校で錆落としや塗装をした。

②記念碑建立。玄関前の庭園の

一角に、「翔け、海老津の子」と刻まれた記念碑がある。上部の球形は光り輝く子どもたちの未来を象徴する太陽を、下部は宇宙に飛び立とうとするロケットを表しているが、上部は頭(知と徳)、下部は胴体(体)も表現している。

③タイムカプセルの埋設。児童の作品を入れたカプセルを埋設した。開けるのを何年後にするか意見が分かれたらしいが、20年後の平成18(2006)年に取り出すことに決まった。すでに取り出し行事は終了している。

④10周年記念航空写真(下敷)の配布。

⑤10周年記念学習発表会や児童と保護者による作品展の開催。

⑥記念誌『創立十年誌』の発行。これには、10年の歩み(沿革)や海老津小教育の概要、研究の歩み、PTA活動の歩みがまとめられている。全児童の言葉として、1年は「わたしのじまん」、2年は「大きくなったら」、3年は「20年後の自

分」、4年は「こんな学校があったらいいな」、5年は「今、燃えていること」、6年は「今、一番ほしいもの」を紹介している。PTA会員による作文も、44の方が書かれている。



▲海老津小学校創立十周年記念事業実行小委員会